

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	構造ヘルスマニタリング小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会	主 査 名：渡壁守正 就任年月：2006 年 4 月 委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治
設 置 期 間	2006 年 4 月 ～ 2010 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、建築分野における構造ヘルスマニタリング (SHM) の在り方として、いかなるモニタリングをなすべきかを具現化するための調査・研究を行う。</p> <p>初年度：SHM の現状調査と認知度を高めるための方策について議論 2 年度：SHM の定義・目的と効果・現状に関する啓発資料作成 3 年度：SHM を推進するための動機付けを示せる資料を作成 4 年度：関係各位の意見をフィードバックするためのシンポジウム or PD を開催</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：渡壁守正 (戸田建設) 幹事：中村 充 (大林組)・吉元怜毅 (三菱総合研究所) 委員：三田 彰 (慶應義塾大学)・岡田成幸 (名古屋工業大学)・薛 松濤 (近畿大学)・佐藤貢一 (大成建設)・西村 功 (武蔵工業大学)・平田京子 (日本女子大学)・森田高市 (建築研究所)・風間宏樹 (日建設計)・久家英夫 (竹中工務店)・酒向裕司 (鹿島建設)・斎藤知生 (清水建設)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2008 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. PD：構造ヘルスマニタリングがつくる安全・安心な建築空間 『構造部門 (振動) パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 260 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 学術的な面の研究は目標どおり。 2. 大会研究集会において、研究者、技術者、設計者など幅広い分野から積極的に議論いただき、SHM の必要性・有効性、SHM 実現へのロードマップの基礎が整理できた。
委員会活動の問題点・課題	1. 用語のみが普及しつつある SHM を、実態をともなった技術へ展開するため、関連分野間で、SHM の導入効果や普及に向け幅広い視点からの意見交換等が不十分である。 2. 他の建築研究者や ICT 研究者との協力関係の必要性